

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	新潟県新発田市
本事業の担当部局名	みらい創造課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名		新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏ライフデザイン事業				新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間		令和8年4月1日		～ 令和9年3月31日		事業開始年度	令和3年度	
総事業費(A)(円)		3,293,576		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0	差引額(A-B)(円)	3,293,576
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		3,293,576						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	123,376	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	123,376	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	3,170,200	0	0	0		3,293,576	
	対象経費支出予定額	3,170,200	0	0	0		3,293,576	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 全国的に少子化が進む中、当市の出生率も年々低下傾向にあり、令和6年の合計特殊出生率は、1.16であった。県平均の1.14と同じレベルにあり、婚姻率の低下や非婚化、晩婚化に歯止めがかかっていない。 出生数は減少傾向にある一方、核家族世帯の増加に伴い孤立した状態での育児に心身ともに負担が大きくなっている。 過年度に引き続き、SNSを活用し子育て世代を中心にタイムリーな情報発信を重点的に行うほか、結婚、出産、子育てのそれぞれのステージに応じた支援を行う。 <本個別事業の位置付け> 中学生、高校生、若手社会人を対象に直面する人口減少問題について理解を深め、若者が将来に希望を見出し、自分の理想とするライフデザインを具体的に考えるきっかけとなる機会を提供する。中学生を対象にすることで早い段階から自身の希望する将来に向かって自立的に行動し、希望を叶える一助となることを目指す。 各学校の実情に応じた内容となるよう、学校と打ち合わせをしながら実施する。また、中学生、高校生とともに第2学年を対象とし、より自分の将来についてイメージしやすいよう、内容を工夫する。						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	中学生向けライフデザイン講座	新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏の中学2年生を対象に、キャリア教育の一環として授業のコマを使い、ライフデザイン講座を実施する。					
	2	高校生向けライフデザイン講座	新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏の高校2年生を対象に、キャリア教育の一環として授業のコマを使い、ライフデザイン講座を実施する。					
	3	社会人向けライフデザイン講座	対象:若手社会人の男女(未婚、既婚問わず)、募集人数50人×1回					
	4	社会人向けライフデザイン講座チラシ・ポスターの作成	数量:チラシ800枚、ポスター80枚(イベント1回分)					

＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)＞

- ・令和7年度は新発田市内10校の中学生2学年773人を対象にライフデザイン講座を実施した。生徒が早い段階から人口減少問題や地域の課題を認識することで、将来の自分の人生設計に具体性を持たせることができている。そこで、高校生、若手社会人にも対象を拡大し、ライフデザイン講座を実施することとする。
- ・これまで社会人向けライフデザイン講座の集客において苦戦してきたが、令和7年度はライフデザインセミナーと食、美容に関するワークショップを組み合わせることで、募集人数を上回る参加希望があった。今後は、地域の若手社会人に向けて、商工関係の団体を經由した周知を強化する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻率			3.0(令和9年)	2.8(令和6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.16(令和6年)	
	婚姻件数		件	269(令和6年)	
	婚姻率			2.8(令和6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	中学生ライフデザイン講座受講人数	人	770(R8年度)	773(R7年度)
	②	高校生ライフデザイン講座受講人数	人	366(R8年度)	244(R7年度)
	③	社会人向けライフデザイン講座受講人数	人	50(R8年度)	50(R7年度)
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	71.0(令和8年度)	70.4(令和7年度)
	④	理想とするライフデザインを考えるきっかけとなったと回答した人の割合	%	87.0(令和8年度)	86.5(令和7年度)
	⑤	男女がそれぞれの立場を尊重しながら結婚や子育てをすることが大切だと回答した人の割合	%	97.0(R8年度)	97.0(R7年度)
	⑥				
	⑦				
	⑧				